



第10号（第14条関係）

令和8年6月30日

令和7年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井伸治 様

住 所 鳥取県倉吉市東仲町 2571

団体名 特定非営利活動法人未来

代表者職・氏名 理事長 岸田寛昭

令和7年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和7年度合計 0 円

2 添付書類

- (1) 寄附金活用実績報告書＜様式第10号の2＞
- (2) 寄附金活用収支決算書＜様式第10号の3＞
- (3) その他参考資料

様式第10号の2（第14条関係）

令和7年度寄附金活用実績報告書

事業名	第24回SUN-IN未来ウォークと第14回日本ノルディックポール・ウォーク学会を国内外に広く広報したい！
実施期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。	期間：令和7年6月6日～令和7年6月8日 場所：鳥取県中部 対象者：国内外 内容：第24回SUN-IN未来ウォーク 第14回日本ノルディックポールウォーク学会 ノルディックウォークは2本のポールを使って歩行運動を補助し、運動効果をより増強する。未来ウォークでも推奨しており、大会当日もインストラクターを配置しノルディックポールの無料の貸し出しも行っている。ルディックウォーキングの最大利点は、年齢性別を問わず気軽に楽しめ、一般的な歩行運動と異なり、上半身の筋肉もより積極的に使われて、鍛えることができる。この二つの大会に多くの方々にご参加いただきたい！
事業実施の成果・効果（見込み）	令和7年6月7日（土）・8日（日）の第24回SUN-IN未来ウォークは韓国から7名、44都道府県から延べ2,598名の参加者があった。天候に恵まれた。大会当日もインストラクターを配置しノルディックポールの無料の貸し出しも行い、92名のポール利用者があった。 6月6日（金）の第14回日本ノルディックポールウォーク学会は17都道府県から139名の参加者があった。 ノルディックウォークは2本のポールを使って歩行運動を補助し、運動効果をより増強する等、リハビリテーション実施報告等があり、医療関係者の参加が目立った。 年齢性別を問わず気軽に楽しめ、一般的な歩行運動と異なり、上半身の筋肉もより積極的に使われて、鍛えることができる。この二つの大会に多くの方々にご参加いただき、体験もしていただけた。

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

様式第10号の3 (第14条関係)

令和7年度寄附金活用収支決算書

【収 入】

区 分	金額 (円)	内 訳
支援寄附金	0 円	
繰越金	194,400 円	
自己資金	21,079 円	
収入 計	215,479 円	

【支 出】

区 分	金額 (円)	内 訳
広報費	215,479 円	チラシデザイン 30,000 円 日本海新聞広告 165,000 円 FB 広告 20,479 円
支出 計	215,479 円	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。